



ご当地 **よ坊さん** 茨城

# 茨 歯 会 報

No.568

茨城県歯科医師会  
Ibaraki Dental Association

August  
**2016**  
平成28年

8



## Contents

デンタルアイ	1
増本章典	
会務	3
理事会報告	13
会務日誌	15
学術委員会だより	17
地域保健委員会だより	29
医療管理委員会だより	33
学校歯科保健だより	36
センターだより	38
寄稿	41
福田真之	
沼田裕之	
ピンクのエプロン	46
加藤江里子	
リレー通信	47
小澤永久	
国保組合 NEWS	49
赤えんぴつ	50

### 表紙写真について

柏市あけぼの山農業公園の満開のひまわり畑です。  
朝からたくさんの方が写真撮影に来てました。

(社)茨城県つくば歯科医師会 小林 健一

## 厚生委員会事業について



理事  
増 本 章 典

厚生委員会事業は、会員同士の相互扶助を目的に実施する事業の一つであり具体的には会員間の親睦を深めるためのレクリエーション、ソフトボール大会やゴルフ大会の開催、趣味の会の育成に対する補助等が当事業に該当します。また、一定の年齢と在会年数の条件を満たした会員に対して、長期にわたる事業継続の努力に敬意を表すために、祝い金・記念品を贈呈する長寿祝い金、会員功労賞表彰事業や、長年にわたり歯科医療に従事・貢献した従業員・職員に対して、勤務に対する更なるモチベーションの向上に繋がるものとして表彰する永年勤続従業員・職員表彰事業等、会員・従業員等の表彰事業についても当事業に該当すると考えます。会員・従業員等の精神的な健康増進が、地域医療に貢献できる態勢に寄与するものと捉え、当事業がその役割を担っています。

### 実施事業（昨年度）

#### 1. 厚生事業

- (1) 第37回茨城県歯科医師親善地区対抗ゴルフ大会  
日 時：平成27年9月3日（木）午前8時  
場 所：サミットゴルフクラブ  
参加者：105名（会員97名、招待者ほか8名）

- (2) 第20回茨城県歯科医師親善地区対抗ソフトボール大会  
日 時：平成27年10月1日（木）午前9時20分  
場 所：水戸市総合運動公園 軟式野球場  
参加者：138名  
主 幹：鹿行歯科医師会
- (3) 趣味の会への補助  
つりクラブ：10万円  
ゴルフクラブ：13万円  
テニスクラブ：12万円
- (4) レクリエーション  
茨城県歯科医学会：なでしこクラウドによる弦楽三重奏
- (5) 永年勤続従業員表彰  
平成28年3月17日に標記表彰を行った。  
表彰対象者：75名

#### 2. 表彰事業

- (1) 白寿会記念品の贈呈  
本年度終身会員になられた10名の方に記念品（オムロン体重体組成計）を贈った。
- (2) 長寿祝い金の贈呈  
敬老の日を記念して8名に長寿祝い金（10万円）を贈った。
- (3) 会員功労者表彰

長年にわたり本会運営に寄与された功績を称え、平成28年3月17日に、標記表彰を行った。

表彰対象者：10名

以上が厚生委員会の事業活動ですが、その他の相互扶助事業として、平成27年9月の関東・東北豪雨により被害を受けた会員15名に対して、本会からの災害見舞金及び、関係団体等から預かった義援金を被害状況に応じて配分し、送金を行いました。

本会からの災害見舞金 総額1,350,000円  
 関係団体等から預かった災害義援金 総額1,776,413円

本会からの災害見舞金の中には茨城県歯科医師親善地区対抗ソフトボール大会参加者の方からの見舞金も含まれています。この場を借りてあらためて御礼申し上げます。

最後になりますが、厚生委員会事業に関してご質問、ご要望などございましたら、私か各地区の県歯厚生委員までご連絡いただければ幸いです。



**株式会社 岩瀬歯科商会**



昭和の幕開けと共に栃木県で創業した弊社は、今年で90年目を迎えます。  
皆様方への感謝を忘れず、未来を見据えた歯科ディーラー像を創造して参ります。

イワセオリジナルユニット  
**SIGNO NEXT**

こだわりと好みをひとつずつ反映しながら、ワンランク上のラグジュアリー空間と心地よさを演出します。



ROCKASE DENTAL SUPPLY INC.

**事業所案内**

本社	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
宇都宮支店	宇都宮市平出工業団地37-6	TEL:028-613-5858
水戸支店	水戸市白梅2-8-18	TEL:029-225-6543
松戸支店	松戸市幸谷観音下159-1	TEL:047-345-3131
千葉支店	千葉市中央区浜野町879-1	TEL:043-305-1182
上野支店	台東区台東2-23-7	TEL:03-3832-8241
古河支店	古河市下山町9-60	TEL:0280-30-1582
福島支店	福島市鎌田字卸町4-1	TEL:024-552-1161
世田谷支店	世田谷区玉川台2-11-17-101	TEL:03-5491-7595
練馬営業所	練馬区豊玉北4-14-11	TEL:03-5912-1180
横浜支店	横浜市栄区小菅ヶ谷1-28-9-101	TEL:045-895-3808
5月GW明け以降	横浜市磯子区中原2-1-19	TEL:045-770-4182
前橋支店	前橋市紅雲町1-22-2	TEL:027-243-8241
5月GW明け以降	高崎市京目町176-2	TEL:027-350-8241
厚木支店	厚木市酒井2087-14	TEL:046-228-5550
大宮支店	さいたま市見沼区東大宮7-41-1	TEL:048-688-1740
盛岡支店	盛岡市上堂1-6-5	TEL:019-648-2777
東大和支店	東大和市立野3-640-1	TEL:042-590-5770

■ 会社名称 株式会社 岩瀬歯科商会  
 ■ 設立年 1926年  
 ■ 代表取締役 岩瀬 浩二  
 ■ 本社〒328-0800 栃木県宇都宮市白梅2-8-18 TEL:029-225-6543  
 ■ 定款取得年 1926年

製造販売・製造 株式会社モリタ東京製作所 発売 株式会社モリタ  
 本社〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 TEL:03-5561-1315 大阪本社 大阪府吹田市豊水區3-33-18 TEL:06-6380-2525  
 伊藤工場 〒350-0101 埼玉県北見市伊藤町小宮1129 TEL:048-723-2621 東京本社 東京都台東区上野2-11-15 TEL:03-3834-6161

# 理事会報告

## 第4回理事会

日時 平成28年7月14日（木）午後4時30分

場所 茨城県歯科医師会館 会議室

### 1. 報告

- (1) 一般会務報告
- (2) 6月開業予定の歯科医院について
- (3) 疾病共済金の支払について
- (4) 後援依頼について
  - ①第15回認知症フォーラム in いばらき
  - ②生活習慣病予防対策推進事業中央地区健康フォーラム
  - ③茨城県難病相談支援センター地域交流活動事業「難病フェスタ2016」
  - ④第29回いばらき医療福祉研究集会・第10回いばらき歯科医療フォーラム
- (5) 各委員会報告について
 

学術委員会、医療管理委員会、地域保健委員会、学校歯科委員会、社会保険委員会

### 2. 協議事項

- (1) 茨城県内の大学等に通学している学生の健康・栄養状態及び食育に対する意識に関する調査研究について（県栄養士会）
 

標記調査について、年度計画にないため、今回は見送ることとした。
- (2) 市民公開講座への後援名義の使用について（県作業療法士会）
 

標記後援名義の使用について承認した。
- (3) 第3回「地域包括ケアシステム・医療連携構築セミナー」の後援について（ケアマネ

ジャー経営研究会）

標記セミナーへの後援について、今回は見送ることとした。

- (4) 第16回「後発医薬品使用促進セミナー」後援依頼について（県薬務課）

標記後援依頼について承認した。

- (5) リハビリテーション・ケア合同研究大会茨城2016後援依頼について

標記後援依頼について承認した。

- (6) 第20回茨城県総合リハビリテーション・ケア学会学術集会協賛・広告のお願いについて
 

標記学術集会への協賛・広告について承認した。

- (7) 第80回全国学校歯科保健研究大会ポスター発表について

標記ポスター発表について承認した。

- (8) 平成28年度学校歯科保健研修会 講師謝礼について

標記講師謝礼について承認した。

- (9) 在宅療養支援歯科診療所の施設基準にかかわる講習会講師謝礼について

標記講師謝礼について承認した。

- (10) まつりつくば2016への補助について（つくば）

標記補助について承認した。

- (11) 第80回全国学校歯科保健研究大会記念文部科学大臣表彰被表彰候補者の推薦について
 

標記について森永会長に一任することとした。

- (12) 事務局規程改正について

標記規程改正について承認した。

- (13) 茨城歯科専門学校学則改正案について

- 標記学則改正案について継続して協議することとした。
- (14) 茨城県・高萩市総合防災訓練について  
標記防災訓練について承認した。
- (15) 茨歯会災害対策本部規定・運営細則（案）  
の検討について  
標記について承認した。
- (16) いばらきスポーツ・健康づくり歯学協議会  
講演会開催について

- 講演会を開催することについて承認した。
- (17) （仮称）島田洋七氏講演会ご後援のお願い  
（日立）  
標記について、継続して協議することとした。
- (18) その他  
県民歯科保健大会当日の県民向け講演会の  
講師について  
森永会長に講師を依頼することとした。

# 会務日誌

- 7月21日 関東地区歯科医師会会長・専務理事・事務局長会議が日歯会館にて開催され、平成28年度関東地区歯科医師会関係諸会議の開催計画ほかについて協議が行われた。  
出席者 森永会長ほか2名
- 7月21日 第4回広報委員会を開催。会報7月号の校正、会報8月号の編集について協議を行った。  
出席者 小林広報委員長ほか5名
- 7月22日 労働保険加入推進員研修会がホテルテラスザガーデン水戸にて開催され、労働保険未手続事業一掃対策ほかについて研修が行われた。  
出席者 須能
- 7月23日 第16回日本スポーツ・健康づくり歯学協議会が松山市「松山全日空ホテル」にて開催され、平成27年度日本スポーツ・健康づくり歯学協議会事業報告などの報告の後、スポーツ歯科に関する講演が行われた。  
出席者 千葉理事ほか1名
- 7月26日 国民体育大会茨城県準備委員会第4回総会が水戸プラザホテルにて開催され、平成27年度事業報告ほかについて議事を行った。  
出席者 森永会長
- 7月27日 歯科専門学校にて第1回体験入学を実施。歯科衛生士科に46名、歯科技工士科に11名の参加があった。
- 7月28日 第5回歯科助手講習会を開催。消毒、滅菌の必要性をテーマに「室、手指、器材、材料の消毒」「歯科診療補助の実際」について講義を行った。  
受講者 54名
- 7月28日 第4回地域保健委員会を開催。高齢者よい歯のコンクール、歯科保健賞、噛むかむレシピコンテスト、生活習慣病対策事業と禁煙支援研修会、口腔機能健康測定、県民歯科保健大会、出前教室、フッ化物応用研修会、口腔内細菌カウンター・口腔内水分計使用法、県委託事業等、地域保健関連の外部会議等出席状況（平成27年度から）について協議を行った。  
出席者 渡辺地域保健部長ほか8名
- 7月28日 第4回口腔センター土浦移設検討臨時小委員会を開催。口腔センター土浦移設に関する設備内容について協議を行った。  
出席者 黒澤口腔センター土浦移設検討臨時委員長ほか11名
- 7月28日 フッ化物応用研修会を開催。「フッ化物応用が支援する生涯の健康づくり」について神奈川県歯科大学大学院口腔科学講座教授の荒川浩久先生が講演され、本会地域保健委員長の北見英理氏が「茨城県歯科医師会のフッ化物洗口普及の取り組み」について説明した。  
受講者 92名

- 7月31日 睡眠時無呼吸症講習会を牛久市中央生涯学習センターにて開催。「睡眠時無呼吸に対する歯科医の役割～治療と医療連携これからの使命～」をテーマに太田総合病院 太田睡眠科学センター 睡眠外科学センター 口腔外科主任の有坂岳大先生が講演された。  
受講者 81名
- 8月 4日 第3回厚生委員会を阿見町内にて開催。第38回茨城県歯科医師親善地区対抗ゴルフ大会組み合わせ、県民歯科保健大会後の県民向け講演会について協議を行った。  
出席者 増本厚生部長ほか9名
- 8月 4日 学校歯科保健研修会を県民文化センターにて開催。「こどもの口はふしぎがいっぱい」と題して国立モンゴル医科大学 客員教授の岡崎好秀先生が講演された。  
受講者 289名
- 8月 4日 口腔保健支援センター運営委員会が県庁舎にて開催され、平成28年度口腔保健支援センター事業について協議が行われた。  
出席者 森永会長ほか2名
- 8月 8日 県医療審議会、保健医療計画部会及び医療法人部会が県薬剤師会館にて開催された。  
出席者 森永会長
- 8月10日 第5回社会保険正副委員長会議を開催。第5回委員会、指導、疑義、Q&A、理事会、審査内容、社会保険指導者研修会・審査委員連絡協議会出席委員について協議を行った。  
出席者 榊社会保険部長ほか2名
- 8月10日 第5回社会保険委員会を開催。疑義、Q&A、社会保険指導者研修会出席委員、審査委員連絡協議会出席委員、合同協議会開催、指導立会い委員の交代、審査委員連絡協議会の提出議題について協議を行った。  
出席者 榊社会保険部長ほか20名
- 8月11日 災害時口腔ケア講演会を開催。「大規模災害時の口腔保健の重要性と医科・歯科一福祉連携」について神戸常磐大学短期大学部口腔保健学科教授・歯学博士の足立了平先生が講演された。  
受講者 69名
- 8月17日 歯科専門学校にて第2回体験入学を実施。歯科衛生士科に35名、歯科技工士科に4名の参加があった。

## フッ化物応用研修会に参加して

地域保健委員会 久松 雅彦

7月28日、茨城県歯科医師会館において、たくさんの会員や関係者の皆様の参加のもと、フッ化物応用研修会が開催されました。



森永会長挨拶

まずは、冒頭の森永会長の挨拶に続き、地域保健委員会の北見委員長より「茨城県歯科医師会のフッ化物洗口普及の取り組みについて説明がありました。茨城県は、12歳児における1人平均虫歯本数でみると、全国平均を上回っているのが現状です。たとえば、平成18年度学校保健統計調査のデータでは全国平均が1.71本で、それに対して、茨城県は2.1本でした。平成21年度のデータでも全国平均が1.40本に対して、茨城県は1.5本と依然として全国平均を上回っています。ちなみに平成7年ごろから、フッ化物の応用に取り組み始めた佐賀県では平成18年度は2.0本と、茨城県と同様に全国平均を上回っていたものが、平成21年度には1.2本と全国平均を下回っています。

そこで、茨城県歯科医師会では平成22年度より茨城県より委託を受け、モデル保育所3か所にお

いてフッ化物洗口を開始し、その後、9保育所にまでフッ化物洗口の普及を拡大してきました。しかしながら、まだまだフッ化物に対する地域及び歯科医師の認識は低く、今後も一層の普及拡大が望まれるところです。

そこで今回は、神奈川歯科大学大学院 口腔科学講座 荒川浩久先生に、「フッ化物応用が支援する生涯の健康づくり」という演題で講演していただきました。歯ブラシで歯面を磨いても、100パーセント細菌を除去することは不可能、シーラントは裂溝部分のカリエスしか防げないなどの具体的な事例が示され、フッ化物応用の必要性、年齢によるフッ化物の使い方などについて、事細かに説明していただきました。

諸外国では、水道水フッロリデーションをはじめとするフッ化物全身応用と、1日2回以上のフッ化物配合歯磨剤使用が推奨され、更に虫歯リスクの高い人には、フッ化物歯面塗布とフッ化物洗口が追加されます。しかし、日本ではフッ化物の全



北見 地域保健委員長 説明

身応用は実施されていないので、1日2回のフッ化物歯磨剤の使用（上顎前歯の萌出とともに）と、フッ化物歯面塗布（1歳半から）、フッ化物洗口（4歳から）を組み合わせる実施するのが有効とのことでした。

現在、初期のカリエスにはフッ化物を応用して再石灰化を目指すことが望ましいとされていますが、とにかく、予防やフッ化物応用に関しては歯科衛生士頼みにしてしまっていることが多いのではないのでしょうか。この講演を聴いて我々歯科医師が、もっと本格的にフッ素の局所応用に取り組む必要があることを認識させられました。



荒川 浩久 先生 講演

## 歯科特殊健康診断認定歯科医師講習会報告

地域保健委員会 土屋 雄一

### 「歯科医師による健康診断」

講師 茨城県歯科医師会 産業口腔保健統括  
マネージャー 戒田 敏之 先生

本年度上記講習会が、4月21日（木）県歯科医師会館、5月18日（水）日立市、6月23日（木）土浦市、7月9日（土）古河市のそれぞれの地区において開催されましたのでご報告致します。



森永会長 挨拶

### 〈なぜ講習会を開催するのか？〉

歯科特殊健康診断認定歯科医師の制度化を考えている。

ライフステージの中で成人保健は法的に定められた歯科健診がない（節目歯周疾患検診は努力義務）。特に産業保健は全国に5500万人もの就労者がいるにもかかわらず歯科保健活動は皆無なのが現状。唯一の法定健診である歯科医師による特殊健康診断も、歯科医師には完全に理解されていない部分が多く、また、事業者も同様に把握していない。

### 〈産業保健における歯科医師の立場〉

医師、歯科医師には第1種衛生管理者の資格がある。

2つの産業歯科医が存在している

①労働安全衛生法の産業歯科医

有害業務に50人以上がいる事業場で行われる  
歯科健康診断にかかわる歯科医師をさす。

## ②通称、産業歯科医

日本歯科医師会が「産業歯科医」と称している  
ものは、安衛法の範囲を超えた物で法的根  
拠をもつものではない。



講師 戒田敏之  
産業口腔保健  
統括マネージャー

### <産業歯科医の職務>

歯科特殊健康診断を  
法令準拠で施行する。

作業場で使用してい  
るすべての化学物質を把  
握しておく。同時に、粉  
じんもチェックする。

職場巡視を実施し、  
作業環境管理・作業管  
理の状況を確認する。

## <なぜ茨城県の歯科特殊健康診断を改定する必要 が有るのか？>

### ①化学物質のリスクアセスメントの義務化

危険性・有害性のある物質に対する法的規制  
の強化。

### ②健診料金の改定の必要性

物価・人件費の上昇があるにもかかわらず、  
料金の改定が行われていない。

### ③茨城県歯科医師会事務局の対応の改善

公益法人化後、多様な事務処理が増加し、歯科  
医院で対応できる業務は改善の必要性あり。

## <茨城県歯科医師会と健診実施歯科医師との関係 まとめ>

茨歯会は、協力歯科医師に事業者からの健診事  
業について、斡旋はするが、交渉・契約につい  
ては関与しない。よって、健診に対する責任は、実  
施者にある。

健診歯科医師が事業者と直接契約する。

今回説明する健診料・職場巡視等の件は、努力  
義務で、強制ではない。

歯科医師会は器材の貸し出しは行わない、実施  
する認定歯科医師が準備する。

## <特殊健康診断の目的と意識>

- ①事業者責任が明確である事
- ②業務列挙方式である（対象となる作業、物  
質、場所などを指定）
- ③特定の疾病を対象としている（特定の業務）
- ④実施回数の規定
- ⑤業務歴、既往歴の重要性
- ⑥作業状況調査の重要性
- ⑦自覚症状の把握
- ⑧業務起因性の判断（労災の問題）

## <特殊健康診断の実施時間・対象者>

事業者責任のため、以下の事に注意すること。

就業時間内で実施すること。

時間外であれば、残業手当等の支給必要。

歯科医院で実施する時は、交通費が必要。

万一、酸蝕症が疑われる場合は、職場巡視は  
必ず実施する。

歯科医師の特殊健診では、有害業務従事者が  
対象ではなく、有害業務を取り扱う場所が対  
象となる事を確認する事。

## <健診結果の状況について>

特殊健診は、う蝕・歯周病健診とは異なり、歯  
の酸蝕症や、化学物質による口腔内の異常を確認  
する事が目的であり、無い事が、通常である。

## <労働衛生管理の考え方>

3つの管理を考えながら労働者の健康を考える。

- ①作業環境管理（局所排気装置等の換気点検に  
ついて）
- ②作業管理（マスクなどの保護具の使用法や頻

度について)

③健康管理（健康診断の実施）

＜歯の酸蝕症（歯牙酸蝕症）診断基準＞

E0 健全

E+ 疑問型 健全ではないが明らかな病変は認められない

E1 軽微 エナメル表層が侵されている

E2 軽度 歯牙の実質欠損は進んでいるが象牙質には達していない

E3 中等度 実質欠損が象牙質に達している

E4 重度 本来の歯牙形態を失うほど実質欠損が進んでいる

＜歯の酸蝕症の労働災害認定基準＞

歯牙の腐滅消耗により象牙質が露出するに至ったもの、かつ現在の作業が原因と確定された酸蝕症。

安易に労災認定の対象とはしないこと。

＜担当歯科医師の職務＞

事業者との打ち合わせが一番大切である。事業場の内容を知る事。

＜健診料金＞

歯科特殊健康診断（茨城県歯科医師会規定）は、一人当たり3,240円（消費税込み）。

職場巡視と書類作成・交通費は別途。5,000円～（作業場の大きさ・人数で異なる）交通費は高速代は別途 1km 30円。

但し、健診に係わる人件費・消耗品は別途請求する。

＜健診手順と流れ＞

①衛生担当者との打ち合わせ

②健診日、健診時間、場所の決定

③特殊健診の実施

デジカメで良いので写真を撮る。

④衛生教育の実施

⑤結果報告

すみやかに、個人票と報告書・請求書を事業者に提出する。

⑥定期的に健診する

6ヶ月以内に1回、必ず行う事。

50人未満でもやらねばならない。

＜茨城県歯科医師会の取り組み＞

①口腔機能健康測定の実地、職域での普及啓発  
職域出前教室を実施。

②精度管理の行き届いた歯科特殊健康診断の実施  
歯科特殊健康診断認定歯科医師制度。

③受動喫煙予防対策

禁煙講話・禁煙支援歯科医院認証制度。

④口腔がん検診、周術期口腔機能管理

地区歯科医師会実施・病診連携。

⑤産業口腔保健相談

電話にて随時受付。

＜茨城県歯科医師会が目標とするオーラルヘルスプロモーション＞

かかりつけ歯科医院での定期検診・予防処置の継続的な実施により健康づくりをする。そしてQOL向上のためパブリックケアとして事業所で行われる歯科特殊健康診断を我々歯科医師がしっかり出来る事が大切。



受講者の様子



質疑応答

# 医療+管理委員会 だより

## 平成28年度 歯科衛生士復職支援講習会

医療管理委員会 環 宏唯

平成28年7月20日（水）、平成28年度歯科衛生士復職支援講習会開講式が行われました。今回は、7名の参加となりました。歯科衛生士科より、菱沼清美先生、西連地寿恵先生、根目沢葉子先生、山下千春先生を講師に迎え、ご協力をいただきました。

森永会長より、昨今の歯科衛生士の事情、在宅の口腔ケア、予防歯科など、歯科衛生士の必要性のお話がありました。復帰するにあたり、そのプログラムとして、セミナーを活用すること、歯科衛生士科の先生に相談をすることで、実践に則した現場復帰への足掛かりになることを願っています。

第一回目の今日は、①シャープニング実習、②エアスケーラー相互実習、③歯面清掃器（エアフロー）相互実習を行いました。

ハンドスケーラーのシャープニングでは、私自身、行ったことがなく、歯科医でも勉強になりました。早速、自院に戻って、スタッフに説明したくらいです。刃を研ぐ角度の重要性を再確認しました。自分たちが使用する器具はしっかりとメンテナンスをすることが大事だと思いました。

エアスケーラーの実習では、二人一組になり、お互い口腔内のスケーリングをしました。ハンドピースの持ち方、当て方、当てる力など、操作の説明を受け、しっかりとされていました。操作時の注意点などを聞きながら、それぞれが工夫して行えました。

エアフローの実習では、細かな汚れ、着色等をきれいにしていました。

今回の7名のうち、4名が勤務されていて、また1名の就職が決まっているとのことでした。再



就職のために現場の感覚を取り戻すことと、また復帰しても自信を持って治療にあたるために、このセミナーは大切だと思いました。沢山の歯科衛生士が活用していただくと有り難いです。

講習会后に、テーブルを囲んで、講話をし、皆で意見交換会をしました。最初、なかなか話しにくいようでしたが、今まで勤務した医院の良かったところや、困ったところの意見を聞くことができました。

歯科衛生士が勤務するにあたって気にすることは、勤務時間、給与・待遇、職場の人間関係などがあげられていました。子供や家族の用事で休みをもらうことが難しかったり、病気になったり、体調不良のときも勤務するように強いられたり、乳幼児を連れて勤務させられたなど、職場環境の悪いことが浮き彫りになりました。そのような医院はごく一部とは思いますが、やはり働きやすい環境の整備も大切なことだと思いました。雇う側と雇われる側の考え方もそれぞれあるとは思いますが、スタッフがいて医院が運営できるので、スタッフの意見を聞くことも大事であると感じました。

今年度は、歯科医師会館で3回の予定で行われ、また順次、地区でも開催することになりました。休職中の歯科衛生士のために、また医院の歯科衛生士の確保のために、地区歯科医師会におかれましてもご協力をお願いします。



## 歯科衛生士復職支援講習会アンケート結果 (平成28年7月20日) 受講者7名

Q1 この講習会の事を何で知りましたか？

A1. 歯科医院の広告	4
A2. ホームページ	1
A3. 友人・知人の紹介	2
A4. 真珠会お知らせ	0
A5. 衛生士会お知らせ	0
A6. その他	0

Q2 講義の内容はどうでしたか？

A1. 丁度よい	7
A2. 物足りない	0

Q3 実習内容はどうでしたか？

A1. 丁度よい	7
A2. 物足りない	0

Q4 復職にあたって気になることは？

(複数回答可)

A1. 給与・待遇	2
A2. 勤務時間	4
A3. 職場の人間関係	4
A4. その他	0

Q5 御友達に復職を考えている衛生士さんはいますか？

A1. いる	1
A2. いない	6

Q6 復職の時期は

A1. 3か月以内	0
A2. 1年以内	0
A3. 1年以上	0
A4. 条件が合えばいつでも	4

Q7 ご意見・ご希望があれば何でもお書き下さい  
 妊娠をし、つわりがひどくて、1カ月程お休みをいただきました。私としては、つわりが落ち着いた後も、産後も働

きたかったのですが、退職をせまられ、辞めることとなりました。マタニティハラスメントについても、考えていただきたいです。



## ご協力をお願いします！！

今年度はこのような未就業の衛生士さんを対象とする復職支援講習会を、水戸以外（土浦石岡、県南、西南、日立、県西）の各地区でも行なうことになりました。今回の講習会でも、受講生は歯科医院のポスターを見ての参加が一番多くなっています。地区開催のポスターが届きました折には、

**是非待合室に貼って下さい！！**

衛生士不足解消のため、よろしくご協力の程お願い致します。

復職支援講習会の詳細はこちらから  
<http://www.ibasikai.com/outplacement/top.html>





## 「摂食嚥下機能の正常発達と 発達期障害児・者への対応」の講演会に参加して

(公社) 茨城県歯科医師会 口腔センター土浦

木村 貴子、村居 幸夫  
征矢 亘、森永 和男

平成28年6月5日(日)、茨城県歯科医師会館にて障害児・者歯科講演会が開催されました。テーマは「摂食嚥下機能の正常発達と発達期障害児・者への対応」と題して、講師には日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座教授の野本たかと先生をお迎えしました。



摂食機能における口腔の発達は、およそ1歳から1歳半の間に完成すると言われています。しかし発達期の障害児・者では、学習不足あるいは誤学習などによって、「食事中にむせる」「丸飲み」「あまり噛まない」など誤嚥や窒息の危険が高まってしまいます。その危険を防止するには、再度正しい学習をすることによって正常発達へと近づけていくことが重要になり、そのためには「摂食機能獲得の8段階」のどの段階にあるのかを確認する必要があります。

### 「摂食機能獲得の8段階」と機能不全の主な症状

1. 経口摂取準備期  
離乳食を食べる準備をする時期  
拒食、過食、摂食拒否、触覚過敏など
2. 嚥下機能獲得期  
乳児嚥下から成人嚥下を獲得する時期  
むせ、乳児嚥下、逆嚥下など
3. 捕食機能獲得期  
口唇で食物を取り込むことを覚える時期  
食べこぼし、過開口、スプーン噛み、舌突出など
4. 押しつぶし機能獲得期  
舌を口蓋に押し付けてつぶすことを覚える時期  
丸飲み、舌突出、食塊形成不全など
5. すりつぶし機能獲得期  
臼歯部のあたりでつぶすことを覚える時期  
丸飲み、口角からのもれ、処理時の口唇閉鎖不全など
6. 自食準備期  
自食をするための準備の時期  
犬食い、押し込み食べ、流し込み食べなど
7. 手づかみ食べ機能獲得期  
自立の練習を行っていく時期  
手のひらで押し込む、歯で引きちぎる、咀嚼

嚼不全など

## 8. 食器（食具）食べ機能獲得期

食器や食具を使って食べることを覚える時期  
食具で押し込む、流し込む、こぼす、咀嚼  
不全など

「摂食機能8段階」で正常発達を理解し、機能を評価、診断して適切な「食環境指導」「食内容指

導」「摂食訓練」を実施することが望まれます。

わかりやすい講演で2時間がとても早く感じました。

人は生きていく中で、口から食べることにより栄養摂取をしています。日常生活の中で大きな楽しみにもなります。摂食指導で通院されている患者さんが安全においしく食べられるよう、これからも努めていきたいと思います。



## 障害者歯科に3年間携わって

(公社)茨城県歯科医師会 口腔センター水戸

鬼澤 璃沙

口腔センターに勤務してから、3年が経ちました。臨床経験もなく、最初は患者さんとうまく接せるか、技術がきちんと伴うか不安でいっぱいでした。しかし、先生や先輩方にいろいろと丁寧に指導いただきながら診療を行っていき、次第に慣れていき患者さんを1人で担当できるようになりました。

担当している精神発達遅滞の患者さんは染め出

しを行ってブラッシングの練習をしていると、いつも鏡を見ながら一生懸命磨いてくれます。頑張りすぎて、力が入りすぎてしまうこともあります。赤く染まったところが自分で落とせるとすごく喜び、「上手にできたね」と褒めると、「お家でも頑張るね!」といつも言ってくれます。何回か練習を重ねていくにつれ、染め出しをして赤く染まる部分が少しずつ減ってきたので、成果があ

らわれてきて、私自身も嬉しく思います。

ダウン症の患者さんはぶくぶくうがいなかなかできず、食べ物が頬によく溜まってしまいます。来院した際に、いつもぶくぶくうがいの練習を行っており、頬訓練と口唇訓練を行った後に、頬を膨らませる練習を行っています。そのあとにぶくぶくうがいをしてもらおうと、少しですが頬を動かしてうがいをすることができます。少しでもうがいができると、患者さんもニコッと笑って答えたりしてくれ、“やって良かったな”と感じます。これからも検診時に継続して経過を見ていきたいと思っております。

診療をしていく中で、患者さんの笑顔が見られ

ると、成功した喜びを共感できるので、すごくやりがいを感じます。時にはなかなか上手くいかず、成功しないときもありますが、患者さんの様子を見ながら、無理のない指導計画を立てていけるよう、日々努めていきたいと思っております。



## 原稿募集

身近な出来事から臨床まで皆さまのご意見・感想を載せてみませんか。

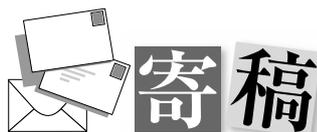
「茨歯会報」は会員皆さまの会誌です。臨床におけるヒントや趣味、旅の思い出など、また地区歯科医師会や同好会・同窓会の様々な活動（研修会、厚生事業）など何でも結構です。会報をフルにご活用下さい。

Eメールの投稿で結構です。形式はどんな形式でもかまいませんが、出来ればテキスト、ワード、一太郎、にてお送り下さい。

詳しくは、茨歯会事務局まで。

E-mail [id-05-koho@ibasikai.or.jp](mailto:id-05-koho@ibasikai.or.jp)

広報委員会



## 「石岡市歯と口腔の健康づくり 推進条例制定記念式典」開催の報告

石岡市歯科医師会 福田 真之

7月2日（土）に、本年4月1日に施行となった「石岡市歯と口腔の健康づくり推進条例」の制定記念式典が、ふれあいの里石岡ひまわりの館を会場にして、260名の参加者の中、盛大に開催されたことを報告いたします。

策を継続的かつ効果的に推進し、市民の健康の保持増進に与することを目的としています。

式典に先立ち、石岡市健康増進課と石岡市歯科医師会とで咀嚼力チェック、歯磨き指導、オーラルペーパーテスト、フッ素塗布、口腔内水分量測定、口腔内細菌カウンタ、位相差顕微鏡による細

目からウロコ!? 口からはじめる健康づくり!!

### 歯と口腔の健康づくり推進条例制定記念式典

石岡市は健康寿命の延伸を目指し、「石岡市歯と口腔の健康づくり推進条例」を制定しました。

2016年 **7/2** 土

【会場】ふれあいの里石岡 ひまわりの館 (ふれあいホール)  
茨城県石岡市大砂10527-4

【受付】12:00～  
【体験コーナー】12:00～13:00  
【記念式典】13:00～15:45

**講演 1** 13:35～14:05  
口からはじめる健康づくり  
～健口長寿 石岡市をめざして～  
茨城県歯科医師会 8020・6424情報センター  
コーディネーター 藤田 かおり 氏

**講演 2** 14:15～15:45  
健康長寿を支援する  
おいしく、楽しく、美しく  
“摂食機能”の実力  
日本大学歯学部摂食機能療法講座  
教授 植田 耕一郎 氏

**体験コーナー**  
口腔内水分量測定  
口腔内細菌カウンタ  
咀嚼力チェック  
歯磨き指導  
オーラルペーパーテスト  
フッ素塗布

【参加費】無料  
定員300名

主催 / 石岡市・石岡市歯科医師会  
お問合せ 石岡保健センター 〒315-0027 石岡市村並2-1-1 TEL.0299-24-1386 FAX.0299-24-4638  
八郷保健センター 〒315-0116 石岡市柿岡2750 TEL.0299-43-6655 FAX.0299-44-1492

この条例は「歯科口腔保健の推進に関する法律」及び「茨城県歯と口腔の健康づくり8020・6424推進条例」の趣旨に基づき制定されたものであり、市民の生涯にわたる口腔の健康づくりに関する施



体験コーナー

菌モニター映写、栄養相談、お薬相談、石膏塗り絵などの市民への体験コーナーが開設されました。多くの市民の方々が大変興味をもたれて参加していました。

その後式典へと移り、まず始めに条例制定までの経緯と概要について市担当者より説明がありま



条例について説明



石岡歯科医師会長挨拶



森永会長挨拶

した。条例の本文は石岡市ホームページ内にて掲載されています。

続いて、主催者である今泉文彦石岡市長、富田敏紀石岡市歯科医師会会長の挨拶がありました。

そして、石岡市議会議長と森永和男茨城県歯科医師会会長の来賓挨拶がありました。

その後、以下講演会へと移りました。

### 【講演1】

演題 「口からはじめる健康づくり

～健口長寿石岡市をめざして～

講師 藤田かおり氏（茨城県歯科医師会 8020・6424情報センターコーディネーター）

「子供の歯は何本？」「大人の歯は何本？」という問いかけから始まり、

- ・成長期における虫歯予防の大切さ
- ・五感で食べること
- ・歯周病と全身疾患の関わり
- ・ブラッシングのポイント
- ・かかりつけ歯科医とは？

などについて、とても分かりやすく説明され、会場も和やかなムードの中進行していき、最後に「市民・歯科医師会・行政が一体となり、健口長寿石岡を達成できるように」と締めくくられ、講演は終了しました。



藤田氏講演

## 【講演2】

演題 「健康長寿を支援する おいしく、楽しく、美しく生きる“摂食機能”の実力」

講師 植田耕一郎氏（日本大学歯学部摂食機能療法学講座 教授）

講演は、植田先生が1990年にリハビリ治療のモデル病院であった、東京都リハビリテーション病院に勤務されたときのお話から始まりました。

- ・ 摂食機能障害、摂食嚥下障害をきたした口腔内の状態がどのようなものか
- ・ 健康とは？
- ・ 「症状」と「体の声」
- ・ 薬の副作用である眠気と口渇の問題
- ・ 健康であるための自己発見法、自然治癒能力
- ・ 唾液
- ・ “微笑み”
- ・ 口（くち）ストレッチ



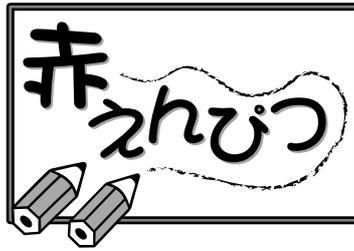
植田先生講演

等について、誌面の都合上、詳細を伝えられないのが残念ですが、とても考えさせられ、ためになる内容のものでした。来場されていた市民のみなさまも90分間熱心に傾聴されていました。

以上植田先生の講演をもって閉会となりました。



懇親会会場にて



## 1988年

このお盆とオリンピックが重なる最中、金メダル以上の激震が起きた。

ファンでなくても、知らない人は居ないあの国民的大スターグループの解散。唯々残念で惜しいの一言。マスコミにて、1988年結成、91年CDデビュー、そして今年で28年になると知った。

私にとっても、この1988年は、開業、結婚、そして歯科医師会入会と忙しい年だった。マスコミで報道される事しか知る由もないが、人が二人以上居ればぶつかることは多々ある。開業当時のスタッフは私の医院にはいないが、「内は開業以来のスタッフが居ます。」と言う先生も当然いらっしゃるはず、素晴らしい事だ。当医院は、28年の中13年で只今更新中である。後何年共に働いてただけるだろうか。

ぶつかるで思い出した。このグループの結成は、4月と報道されてた。我が夫婦は11月で、少し後輩である。今のところ今年を持って解散とは言われてないが、あくまでも全ては未定である。そうならないためにも当然私の思いやりのある努力とコミュニケーションが必要である。これは夫婦間だけでなく全てであり、それが365日24時間出来ないのも人である。ともあれ今出来る最善の積み重ねをしよう。

(コスモッコ)

7月22日、「ポケモンGO」が配信開始された。案の定、あっという間に日本でもスマホ片手に歩き回る人々が増殖した。なんでも配信3日間で国

内のダウンロード数は一千万を突破したとのことである。私自身は全くやろうとは思っていないが、当院スタッフは皆ダウンロードして、あちこち歩き回っているようだ

我が家は鹿島神宮のそばにあるため、街の風景が一変したことをお知らせしなくてはならない。鹿島神宮周辺は条件がいいようで、レアかどうかは不明だがポケモンが多く出るようだ。そのため自然と人も増えて車も増えた。しかも遅い。夜になっても人と車が増えた。危ない。どこに人がいるかわからない、今まで人なんかいそうもないところにいたりするものだから、車で轢かないまでも引っかけたてしだいそうだ。夜に出歩くのが面倒になってしまった。

噂話によると、神宮前の参道が夜中渋滞したとか、夜中に神宮に人が集まって警察が出動したとか、立ち入り禁止区域に入って捕まってしまったとか、いろいろな話が出ているようだ。目撃したわけではないので、真偽は定かではないが、鹿島神宮側では登録削除のお願いもしたとかしないとか、、、、すいません本当のところはわかりません。

いつまでこの状況が続くかは不明だが、余計な追加のシステムが出ないことを祈り、案外あっさり沈静化して静かな状況になってくれることを期待しています。

(くすくすくす)

今年の夏もとにかく暑いが、より熱くしてくれたものがリオデジャネイロオリンピック。始まる

までは、工事が間に合うのか？治安は大丈夫か？ジカ熱は？ロシア選手団は？と話題になっていたが、いざ始まると、連日競技に熱狂。午前中の決勝種目は観られないが、早朝、深夜は観戦可能。つい無理をしてしまった先生方も多かったのでは。

個人的に一番興奮したのは女子バスケ。世界ランク2位のオーストラリアに惜敗、4位のフランスには勝利。しかしわずかな得失点差で予選4位通過。決勝トーナメント1回戦でアメリカに完敗した。アメリカ以外のチームには勝機があったのだが、やはり日本のバスケは持っていないのか。

このチームはスター性の高い選手も揃っていたのだが、残念ながら日の目を見ることがかなわなかった。(またバスケ好きの嘆きを書いてしまった。)

今号発行時はオリンピックも終わっているが、暑さは続いていることだろう。そんなさなかに、ここ数年来調子の悪かった医院のエアコンをリニューアルした。連日の猛暑に院内は快適になったが、ふところは寒い。この寒暖差に体を壊さぬよう、残りの夏を乗り切らねば。

(仁)

## 事務室移転のお知らせ

平素、本会会務運営には格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、8月22日(月)から、茨城県歯科医師国保組合の事務所が専門学校昇降口右の事務室(旧学校事務室)に移転し、また、学校事務が本会事務局学務課として、本会事務所に移転いたしましたので、お知らせいたします。

なお、電話・ファクス・メール等は今まで通りです。

有限会社 **アイ・デー・エス** は、  
**各種保険の代理店・集金業務**  
を行っております。

**損害保険取り扱い**



医師賠償責任保険  
個人情報漏洩保険  
所得補償保険  
長期障害所得補償保険  
家族傷害保険  
デンタルファミリー傷害保険  
ゴルフアー保険  
自動車保険  
火災保険

**生命保険取り扱い**



朝日生命保険  
日本生命保険  
三井生命保険  
明治生命保険  
住友生命保険  
第一生命保険  
グループ共済保険  
小規模企業共済  
損保ジャパン日本興亜ひまわり保険  
アメリカンファミリー保険  
東京海上日動あんしん生命保険  
三井住友海上あいおい生命保険

新規加入、増額変更、何なりとご用命ください。

**有限会社 アイ・デー・エス**

代表取締役 森永 和男

水戸市見和 2 丁目 292 番地の 1 茨城県歯科医師会館内 Tel:029-254-2826

# みんなの写真館

Photo  
Gallery



ひまわり畑と隣の紅龍山東海寺  
(社)茨城県つくば歯科医師会 小林 健一

## 会 員 数

平成28年7月31日現在

支 部	会員数(前月比)
日 立	123
珂 北	138
水 戸	156
東西茨城	74
鹿 行	105
土浦石岡	173
つ く ば	120
県 南	174
県 西	152
西 南	107
準 会 員	1
計	1,323 ±0

## みんなの写真館写真募集！

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、御自宅の古いアルバムに埋もれた写真などを御送り下さい。

1種会員	1,147名
2種会員	42名
終身会員	133名
準会員	1名
合計	1,323名



**Ibaraki Dental Association**

公益社団法人 茨城県歯科医師会

## 茨 歯 会 報

発行日 平成 28 年 8 月  
発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和 2 丁目 292 番地  
電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075  
ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>  
E-mailアドレス [id-05-koho@ibasikai.or.jp](mailto:id-05-koho@ibasikai.or.jp)

発行人 征矢 亘  
編集人 菱沼 一弥



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。